



### 健康福祉分野 政策3 「健康で安心して暮らせる高齢者福祉の充実」

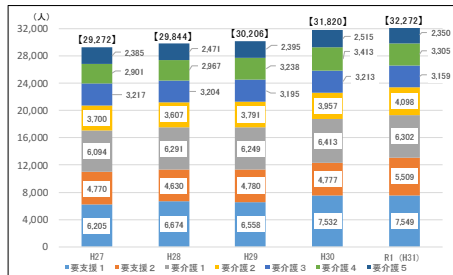
#### 目指す姿

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを感じながら健やかに暮らしている。

#### 【現状と課題】

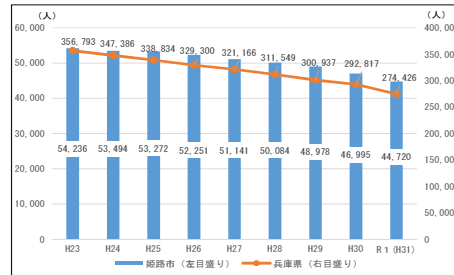
- いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる令和7年（2025年）には、本市においても65歳以上の高齢者のうち約6割が75歳以上の後期高齢者となります。今後、認知症や介護を必要とする高齢者の割合が増加すると推測され、介護ニーズはさらに高まると見込まれています。
- 核家族化の進行や家族観の変化などにより、高齢者単身世帯や高齢夫婦のみの世帯が増加しており、見守り支援や外出支援といった日常生活に対する支援ニーズも高まっています。
- 本市においても、要支援・要介護認定者数や介護ニーズ等が増加傾向にある一方で、高齢者の日常生活を支える福祉人材の確保が困難になっています。
- 本市が令和元年度（2019年度）に実施した「生涯現役アンケート」によると、生きがい感が「高い」と回答した人の割合は53.3%、「低い」と回答した人の割合は17.8%となっています。
- 高齢者の約半数が趣味やスポーツ、ボランティア活動などを行っています。一方で、高齢者の健康づくり活動や地域活動などを行っている老人クラブの加入者数は減少傾向にあります。

※関連データ：姫路市要支援・要介護認定者数



(資料) 介護保険課調べ（各年度末時点）

老人クラブ加入者数の推移



(資料) 生涯現役推進室調べ（各年度4月1日時点）  
兵庫県高齢者保健福祉関係資料（各年度4月1日時点）

#### 【目指す姿を実現するための方向性】

- 人**
  - ア 介護人材の確保・育成**  
高まる介護ニーズに対応できる体制を整えるため、介護人材の定着支援や新たな担い手づくりなど、高齢者を支える介護人材の確保・育成を図ります。
- 地域**
  - イ 高齢者を見守り支え合う地域づくりの推進**  
地域包括支援センターを中心に、医療・福祉関係者をはじめとする多職種のネットワークの構築を進めるとともに、介護者の負担軽減や高齢者の権利擁護などの取組を通じて、高齢者自身やその家族を見守り支え合う地域づくりを進めます。
- 活力**
  - ウ 高齢者の健康・生きがいづくりの促進**
    - 高齢になっても自立した生活が送れるよう、フレイル予防、認知症への早期支援などを通じて、高齢者一人ひとりの健康づくりを促進します。
    - 生涯にわたり自分らしく充実した時間を過ごせるよう、学習活動や交流活動の機会の充実を図るとともに、社会貢献活動や就労への支援などを通じた役割の創出により、高齢者の生きがいづくりを促進します。
  - エ 先進的技術を活用した高齢者福祉の促進**  
高齢者の自立や介護者の負担軽減を図るため、介護ロボット等を活用した日常生活支援、ウェアラブルデバイス等を活用した健康管理など、AIやロボット、IoTといった先進的技術の積極的な活用を促進します。
- 土台**
  - オ 介護保険制度の適切な運営**  
介護サービスを安定的に提供できるよう、介護サービス提供基盤の整備を進めるとともに、心身の状況に応じた適正な介護サービス水準の確保、要支援・要介護認定の適正化、介護事業所の適正運営の促進など、介護保険制度の適切な運営に取り組みます。

#### 市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

- 市民**
  - 自らの健康づくりや生きがいづくりに取り組みましょう。
  - 高齢者への声かけや見守りに取り組みましょう。
- 地域コミュニティ**
  - 高齢者が地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組みましょう。
- 企業・団体**
  - 定年延長や再雇用制度の導入などにより、高齢者のこれまで培ってきた知識や経験を活用しましょう。
  - バリアフリー化など、高齢者にやさしい環境づくりに取り組みましょう。